



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月3日

上場会社名 株式会社 カプコン

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 9697

URL <http://www.capcom.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長 辻本春弘

問合せ先責任者 役職名 取締役常務執行役員 阿部和彦

TEL (06)6920-3605

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	14,277	35.1	2,075	57.2	2,513	79.0	1,130	39.7
19年3月期第1四半期	10,571	△7.5	1,320	48.0	1,404	30.9	808	32.9
(参考) 19年3月期	74,542		9,602		10,600		5,852	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	20 02	16 92
19年3月期第1四半期	14 81	11 24
(参考) 19年3月期	107 52	84 81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	87,364	46,171	52.8	817 68
19年3月期第1四半期	95,867	37,610	39.2	701 26
(参考) 19年3月期	91,478	45,144	49.3	799 35

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金および現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△751	△626	△875	33,734
19年3月期第1四半期	△62	△2,882	△2,388	35,098
(参考) 19年3月期	16,063	△6,715	△15,206	35,020

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	30,350	4.0	2,400	△21.1	2,850	△24.7	1,350	△29.6	23 91
通期	78,000	4.6	10,000	4.1	11,000	3.8	6,200	5.9	109 82

※業績予想につきましては、本日「中間業績予想の修正に関するお知らせ」を別途公表しておりますので、ご参照ください。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 会計処理方法における簡便な方法の採用の有無 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有

「(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 5. その他をご覧ください。」

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出につきましても横ばい状態が続きましたものの、堅調な設備投資と個人消費の持ち直しに支えられ緩やかながらも景気は拡大傾向を持続いたしました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場で据置型の新型ゲーム機が出揃い、国内外において漸増しましたものの、旧型機との世代交代を迎え端境期に入っております。

一方、携帯型ゲーム機は依然として勢いが衰えず好調に推移いたしました。

こうした状況のもと当社は、コア事業である家庭用ゲームソフトの開発に注力するとともに、多様な顧客ニーズに対応するため有力タイトルや他社との提携ソフトの投入のほか、全国で活況を呈した「モンスターハンターフェスタ」の開催など、各種イベントや販促キャンペーンを展開してまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高142億77百万円（前年同期比35.1%増）、営業利益20億75百万円（前年同期比57.2%増）、経常利益25億13百万円（前年同期比79.0%増）、四半期純利益11億30百万円（前年同期比39.7%増）となりました。

なお、株式会社学習研究社と共同でゲームとの付き合い方やテレビゲーム産業を解説した学習まんが教材「テレビゲームのひみつ」を発刊し、全国約24,000の小学校および約2,700の公立図書館に寄贈し、教育現場から好評を博しました。

事業の種類別セグメントの状況

①コンシューマ用ゲームソフト事業

当事業におきましては、当社独自の法廷ゲーム「逆転裁判4」（ニンテンドーDS用）が、シリーズ最高の50万本を超える売れ行きを示すなど好調に推移いたしました。

また、「バイオハザード4 Wii edition」（Wii用）もおおむね順調に販売を伸ばしましたほか、前期大ヒットを放った「モンスターハンターポータブル 2nd」（プレイステーション・ポータブル用）も、根強い人気により続伸いたしました。

この結果、売上高は79億14百万円（前年同期比74.7%増）、営業利益18億72百万円（前年同期比128.3%増）となりました。

②アミューズメント施設運営事業

当事業におきましては、各種イベントの開催や趣向を凝らした快適な店舗運営など、地域密着型の集客展開を図ってまいりましたが、企業間競争の激化や風営法による入店規制（18時以降は16歳未満の入店禁止）等の影響もあって客足や客単価が伸び悩み、既存店は弱含みに展開いたしました。

なお、当第1四半期は新規出店および退店はありませんでした。

この結果、売上高は近年の出店効果もあり29億37百万円（前年同期比1.6%増）と増収となりましたが、営業利益は2億61百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

③業務用機器販売事業

当事業におきましては、業務用カードゲーム機「ワンタメ ミュージックチャンネル」のカード販売等のリピート商品主体の販売となりましたが、市況軟化や新商品の不在に加え、「ドンキーコング バナナキングダム」の不具合なども重なって精彩を欠き、低調裡に終始いたしました。

この結果、売上高は6億93百万円（前年同期比67.6%減）、営業損失1億67百万円（前年は4億79百万円の営業利益）となりました。

④コンテンツエキスパンション事業

当事業におきましては、パチスロ機向け液晶表示基板の「デビル メイ クライ 3」が順調に販売を伸ばすとともに、携帯電話向け配信事業も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は21億74百万円（前年同期比328.3%増）、営業利益8億26百万円（前年同期比648.8%増）となりました。

⑤その他事業

その他事業につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業等で、売上高は5億64百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益1億34百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第1四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億13百万円減少し、873億64百万円となりました。

主な資産の変動は、売上債権の回収が進んだことにより「受取手形および売掛金」が33億26百万円減少したこと等によるものであります。

主な負債の変動は、仕入債務の決済が進んだことにより「支払手形および買掛金」が29億53百万円減少したことに加え、「賞与引当金」が11億90百万円減少したことによるものであります。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が2億83百万円増加したことおよび円安の進行により「為替換算調整勘定」が7億19百万円増加したことによるものであります。

3. 連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第1四半期末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は337億34百万円となり、前連結会計年度末より12億85百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億51百万円の資金減少となりました。主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純利益が21億60百万円となったことおよび売上債権の減少に伴い34億円の資金増加となる一方、たな卸資産の増加により13億79百万円および仕入債務の減少により30億22百万円の資金減少となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億26百万円の資金減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億49百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億75百万円の資金減少となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出7億68百万円によるものであります。

4. 業績予想に関する定性的情報

業績予想に関する事項につきましては、本日平成19年8月3日公表の「中間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

5. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計算等について、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。

引当金の計算基準等について、簡便な方法を採用しております。

また、その他影響額の僅少なものにつき、一部簡便な手続きを採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更

当期より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産につきましては、改正法人税法に規定する償却の方法によっております。なお、この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

また、役員退職慰労金については、従来は株主総会の決議を経た上で支出時に費用計上しておりましたが、役員退職慰労金の引当計上が会計慣行として定着してきたことを踏まえ、役員の内任期間に対応した費用配分を行うことで期間損益の適正化および財務体質の健全化を図る目的で、当期より内規等に基づき合理的に算定できる金額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。なお、この変更に伴い、営業利益および経常利益が8百万円、税金等調整前四半期純利益が358百万円それぞれ減少しております。

6. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成19年3月期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減 (対前期末比)		前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金および預金	35,020	33,734	△1,285		34,898
2 受取手形および売掛金	11,417	8,090	△3,326		9,080
3 有価証券	—	—	—		199
4 たな卸資産	3,488	4,878	1,389		3,470
5 ゲームソフト仕掛品	3,415	5,106	1,691		7,635
6 繰延税金資産	3,215	2,889	△326		3,320
7 短期貸付金	1,204	1,201	△2		1,261
8 その他	3,871	2,080	△1,790		5,300
9 貸倒引当金	△1,543	△1,593	△49		△1,289
流動資産合計	60,089	56,389	△3,700	△6.2	63,877
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物および構築物	6,091	6,052	△38		6,282
(2) 機械装置および運搬具	160	290	129		96
(3) 工具器具備品	790	813	23		512
(4) レンタル機器	667	583	△84		448
(5) アミューズメント施設機器	3,022	2,942	△80		2,761
(6) 土地	4,480	4,484	3		4,478
(7) 建設仮勘定	287	270	△16		2
有形固定資産合計	15,500	15,436	△63	△0.4	14,582
2 無形固定資産					
(1) のれん	1,058	1,104	45		—
(2) その他	1,219	1,339	120		260
無形固定資産合計	2,277	2,443	166	7.3	260
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,794	1,852	57		3,612
(2) 長期貸付金	907	895	△11		807
(3) 繰延税金資産	5,786	5,298	△487		8,156
(4) 破産債権更生債権等	161	161	△0		107
(5) 差入保証金	5,002	5,011	9		4,704
(6) その他	564	581	17		470
(7) 貸倒引当金	△605	△706	△100		△711
投資その他の資産合計	13,611	13,095	△515	△3.8	17,146
固定資産合計	31,389	30,975	△413	△1.3	31,989
資産合計	91,478	87,364	△4,113	△4.5	95,867

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成19年3月期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減 (対前期末比)		前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形および買掛金	7,489	4,536	△2,953		7,533
2 短期借入金	755	755	—		700
3 1年以内償還予定の 転換社債	—	—	—		10,000
4 未払法人税等	875	516	△358		65
5 賞与引当金	1,746	555	△1,190		404
6 返品調整引当金	462	409	△53		173
7 その他	8,417	7,548	△868		7,559
流動負債合計	19,747	14,322	△5,425	△27.5	26,437
II 固定負債					
1 転換社債	15,000	15,000	—		15,000
2 新株予約権付社債	6,635	6,635	—		11,500
3 長期借入金	3,430	3,325	△105		4,025
4 退職給付引当金	933	964	31		847
5 役員退職慰労引当金	—	352	352		—
6 その他	588	594	6		446
固定負債合計	26,586	26,871	284	1.1	31,819
負債合計	46,334	41,193	△5,140	△11.1	58,257
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	29,915	29,915	—		27,581
2 資本剰余金	17,637	17,637	—		15,336
3 利益剰余金	5,555	5,839	283		1,299
4 自己株式	△8,138	△8,140	△2		△6,801
株主資本合計	44,970	45,251	280	0.6	37,415
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	482	514	32		677
2 繰延ヘッジ損益	1	3	1		5
3 為替換算調整勘定	△326	393	719		△487
評価・換算差額等合計	157	910	753	479.4	195
III 少数株主持分	16	9	△7	△42.2	—
純資産合計	45,144	46,171	1,027	2.3	37,610
負債純資産合計	91,478	87,364	△4,113	△4.5	95,867

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	10,571	14,277	3,706	35.1	74,542
II 売上原価	6,619	8,308	1,688	25.5	48,046
売上総利益	3,952	5,969	2,017	51.0	26,496
返品調整引当金繰入額	—	—	—		113
返品調整引当金戻入額	175	53	△122		—
差引売上総利益	4,128	6,022	1,894	45.9	26,382
III 販売費および一般管理費	2,807	3,947	1,139	40.6	16,779
営業利益	1,320	2,075	755	57.2	9,602
IV 営業外収益	164	606	442	268.2	1,405
1 受取利息	143	319	176		882
2 受取配当金	15	18	2		17
3 為替差益	—	251	251		444
4 その他	6	17	11		60
V 営業外費用	80	169	88	109.9	407
1 支払利息	17	18	0		72
2 為替差損	44	—	△44		—
3 貸倒引当金繰入額	—	100	100		151
4 その他	18	50	32		184
経常利益	1,404	2,513	1,109	79.0	10,600
VI 特別利益	—	—	—	—	104
1 固定資産売却益	—	—	—		1
2 訴訟和解金	—	—	—		103
VII 特別損失	33	353	320	968.3	718
1 固定資産除売却損	33	2	△30		173
2 過年度役員退職慰労 引当金繰入額	—	350	350		—
3 投資有価証券評価損	—	—	—		103
4 開発中止損	—	—	—		442
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,371	2,160	789	57.5	9,986
法人税等	562	1,037	474		4,143
少数株主損失	—	7	△7		9
四半期(当期)純利益	808	1,130	321	39.7	5,852

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,371	2,160	9,986
2 減価償却費	505	599	2,774
3 貸倒引当金の増減額(△減少)	△ 4	144	137
4 受取利息および受取配当金	△ 158	△ 338	△ 900
5 支払利息	17	18	72
6 投資有価証券評価損	—	—	103
7 訴訟和解金	—	—	△ 103
8 売上債権の減少額	3,719	3,400	1,659
9 たな卸資産の増減額(△増加)	263	△ 1,379	△ 252
10 ゲームソフト仕掛品の増減額(△増加)	△ 1,287	△ 1,688	2,933
11 仕入債務の増減額(△減少)	326	△ 3,022	186
12 その他	△ 2,952	△ 344	1,000
小計	1,800	△ 449	17,596
13 利息および配当金の受取額	147	351	876
14 利息の支払額	△ 12	△ 22	△ 67
15 訴訟和解金の受取額	—	—	103
16 法人税等の支払額	△ 1,998	△ 631	△ 2,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 62	△ 751	16,063
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産の取得による支出	△ 1,228	△ 449	△ 3,804
2 投資有価証券の取得による支出	△ 1,484	△ 12	△ 116
3 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	—	△ 1,612
4 その他	△ 168	△ 165	△ 1,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,882	△ 626	△ 6,715
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入れによる収入	—	—	55
2 長期借入金の返済による支出	△ 105	△ 105	△ 700
3 転換社債の償還による支出	—	—	△ 10,000
4 自己株式の売却による収入	0	—	0
5 自己株式の取得による支出	△ 1,733	△ 2	△ 3,251
6 親会社による配当金の支払額	△ 550	△ 768	△ 1,337
7 少数株主による払込収入	—	—	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,388	△ 875	△ 15,206
IV 現金および現金同等物に係る換算差額	△ 221	968	203
V 現金および現金同等物の減少額	△ 5,554	△ 1,285	△ 5,654
VI 現金および現金同等物の期首残高	40,652	35,020	40,652
VII 新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	—	—	22
VIII 現金および現金同等物の期末残高	35,098	33,734	35,020

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第1四半期）

（単位：百万円）

	コンシューマ用 ゲームソフト 事業	アミューズメント 施設運営 事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エクステンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,529	2,891	2,128	507	515	10,571	(-)	10,571
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	7	-	-	7	(7)	-
計	4,529	2,891	2,135	507	515	10,579	(7)	10,571
営業費用	3,709	2,492	1,656	397	365	8,620	630	9,251
営業利益	820	398	479	110	149	1,958	(638)	1,320

当四半期（平成20年3月期第1四半期）

（単位：百万円）

	コンシューマ用 ゲームソフト 事業	アミューズメント 施設運営 事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エクステンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,914	2,937	687	2,174	564	14,277	(-)	14,277
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	5	-	-	5	(5)	-
計	7,914	2,937	693	2,174	564	14,283	(5)	14,277
営業費用	6,041	2,675	860	1,347	430	11,355	846	12,201
営業利益または営業損失（△）	1,872	261	△167	826	134	2,928	(852)	2,075

（参考）前期（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	コンシューマ用 ゲームソフト 事業	アミューズメント 施設運営 事業	業務用機器 販売事業	コンテンツ エクステンション 事業	その他事業	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,813	13,043	8,021	7,102	2,561	74,542	(-)	74,542
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	39	-	-	39	(39)	-
計	43,813	13,043	8,060	7,102	2,561	74,581	(39)	74,542
営業費用	35,757	11,033	6,691	5,477	3,000	61,961	2,977	64,939
営業利益または営業損失（△）	8,055	2,009	1,369	1,624	△439	12,619	(3,017)	9,602